

磨き合う緑陽

～「もっとよい自分」づくりを基盤として～

日 曜	日課 部活 下校	学 年	1日の流れ(生徒の活動)							校 内 関 係		備 考
			校 時							各 種 行 事		
			1	2	3	4	5	6	放課後			
17 月	50 × 14:15 15:30	1					／	／	委員会	生徒議会・委員会(次年度当初の動き) 二次選抜出願ベ切16:00	給食 12:35～13:10	
		2	月1	月2	月4	月5	／	／	委員会		ふれあい 13:10～13:30	
		3	／	／	／	／	／	／	／		／	帰りの会 13:40～14:00 最終下校 14:15 議会・委員会 14:15～15:15 最終下校(委員) 15:30
18 火 ☆	特50 × 15:05 15:40	1						／	／	二次選抜出願変更9時～16時 ⑤大清掃	帰りの会 13:40～14:00	
		2	火1	火3	火4	火5	清掃	／	／		教室片付け 14:10～14:20	
		3	／	／	／	／	／	／	／		／	清掃 14:25～14:45 最終下校 15:05 ワックスがけ 14:55～15:25 最終下校(ワックス有)15:40
19 水	50 × 15:10	1						／	／		④時 11:45～12:35	
		2	水1	水2	水3	水5	学	／	／		給食 12:35～13:10	
		3	／	／	／	／	／	／	／		／	ふれあい 13:10～13:30 ⑤時 13:35～14:25 帰りの会 14:35～14:55 最終下校 15:10
20 木		1								☀春分の日☀		
		2										
		3										
21 金 ☆	50 × 14:30	1					／	／	／	第二次選抜検査期日	④時 11:45～12:35	
		2	金1	金3	金5	金6	／	／	／		給食 12:35～13:10	
		3	／	／	／	／	／	／	／		／	ふれあい 13:10～13:30 清掃 13:35～13:45 帰りの会 13:55～14:15 最終下校 14:30
22 土		1										
23 日		1										
		2										
		3										
24 月 ☆	特50 × 16:00	1					／	／	／	後期生徒総会(まどめの会)&認証式・任命式 ④→ふれあい→清掃→帰りの会→まどめの会等 朝)タブレット点検	ふれあい 13:10～13:30	
		2	月1	月3	月4	月5	生	／	／		／	清掃 13:35～13:45
		3	／	／	／	／	／	／	／		／	／

仲間と歩んだ日々を振り返る

どの学年も学年スタンダードについて取り組んでいることと思います。学年スタンダードを行う目的は、来年度に新しい学級になったとしても、どの学級も同じようにスタートするため、です。学年スタンダードの活動は、自分たちがここまでなら出来る！というものが取組内容になっていると思います。それは言い方を変えると、ここまで自分たちは成長しているということの確認でもあるのです。スタンダードの取組として自分たちができるようになったのは「仲間」がいると思います。この「仲間」と歩んできた日々を思い出してみてください。「自分」の成長を支えてくれた背景には「仲間」がいると思います。これが、「仲間のおかげ」です。そこに気付くことができれば、次は、自分を支えてくれた「仲間のために」という思いが生まれ、行動になっていくのです。このように自分たちが歩んできた1年間は常に「仲間のおかげ」であり、「仲間のために」で動いてきたと思います。双方に共通する思いは「感謝」です。だから、学年スタンダード活動をする時には、「仲間」に対する「感謝」の思いをもって取り組んでください。そのような関係が学級に生まれると、学級に対して「誇り」をもつようになります。そんな「誇り」ある学級の一員だったことが、自分自身の「自信」にもつながります。「自信」が生まれると、次の新しい学級でも挑んでいけるようになります。仲間との日々を振り返り、別れを悲しむのではなく、前を向いて進めるための日々にしていきましょう！

梅村亮介のどうでもいい話～「どうでもいい話について書いたどうでもいい話」～

週報も残すところあと2週となってきて感慨深く感じている梅村です。毎年、この時期になると週報のラストが近づいてくるので、今年もやりきれた！と達成感を味わうことができています。そして、来年は週報のどうでもいい話の作成はやめておこうかな～と想ったりもするわけです。そのたびに、「来年も楽しみにしています！」とか「卒業してからも緑陽中学校のホームページで見ます！」などのうれしい言葉を聞き、「よっしゃ、来年も頑張るぞ～！」となります。今回は、そもそも「どうでもいい話」を書き始めたきっかけを少し述べます。

どうでもいい話のタイトルは「梅村先生」ではなく、「梅村亮介」です。これは、教師としてではなく、生身の人間である「梅村亮介」の人となりや考えていること、好みなどを伝えて、共通の話題があって会話のきっかけになったらうれしいな！という思いで始めたものです。そして、日常でクスッと笑える瞬間があれば、その日一日がちょっといい日になるんじゃないかと思って作っています。だから、クスッとしてもらえたらうれしいけど、今回の内容では・・・できないね(笑)